

第2回 横浜市栄区地域ケアプラザ指定管理者選定委員会 議事録	
日 時	令和2年3月24日(火) 午前8時45分から12時まで
開催場所	栄区役所新館4階7号会議室
出席者	<p>【選定委員会委員】</p> <p>委員長 豊田 宗裕 (聖徳大学 社会福祉学科教授)</p> <p>委員 荒井 文夫 (「いでたち」副代表)</p> <p>石井 繁晴 (栄区保健活動推進員会副会長)</p> <p>立木 正子 (立木会計事務所)</p> <p>長谷川 桂子 (「あしたばの会」代表)</p> <p>細田 利明 (栄区連合町内会副会長)</p> <p>宮崎 良子 (栄区主任児童委員代表)</p> <p>吉野 恵子 (栄区民生委員児童委員協議会 代表)</p> <p>【事務局】</p> <p>栄区福祉保健課長 林 千賀</p> <p>栄区福祉保健課運営企画係長 野本 智英</p> <p>栄区福祉保健課事業企画担当 藤森 祐次、鈴木 久美子</p>
欠席者	無し
開催形態	一部非公開 (応募法人によるプレゼンテーション及び質疑応答は、公開) (傍聴者1人)
議題	<p>1 選定方法の確認</p> <p>(1) 会議の公開・非公開</p> <p>(2) 選定委員会の進め方</p> <p>2 財務状況の確認</p> <p>3 応募法人によるプレゼンテーション及び質疑応答</p> <p>4 選定作業</p>
決定事項	<p>指定管理者の候補者 (以下「指定候補者」という。) として、次のとおり、横浜市栄区長に報告することとする。</p> <p>1 横浜市豊田地域ケアプラザ 指定候補者：社会福祉法人横浜市社会福祉協議会 次点候補者：なし</p> <p>2 横浜市笠間地域ケアプラザ 指定候補者：社会福祉法人同塵会 次点候補者：なし</p>

	<p>3 横浜市小菅ヶ谷地域ケアプラザ 指定候補者：社会福祉法人横浜市福祉サービス協会 次点候補者：なし</p> <p>4 横浜市中野地域ケアプラザ 指定候補者：社会福祉法人ル・プリ 次点候補者：なし</p> <p>5 横浜市桂台地域ケアプラザ 指定候補者：社会福祉法人訪問の家 次点候補者：なし</p>
議 事	<p>1 選定方法の確認</p> <p>(1) 会議の公開・非公開について 「横浜市の保有する情報公開に関する条例」に基づき原則公開。ただし、本日の議事の中で「1 選定方法の確認」「2 財務状況の確認」「4 選定作業」を公開することは、公正かつ円滑な議事運営が著しく阻害されることが考えられるうえに、非開示情報に該当する事項の審査も行うため、非公開とすることを確認。</p> <p>(2) 選定委員会の進め方について 資料2 進行予定表に基づき、面接審査の全体の流れ、質疑応答の流れ、最終審査の流れについて説明。 今回、1 施設に対して1 団体のみの応募となっているが、最低制限基準点を超える必要がある（満たない場合は再選定となる）ことを確認。</p> <p>2 財務状況の確認 (事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> 本市（健康福祉局）が第三者機関に対して行った財務評価委託の結果を報告。結果について事前に確認、評価・採点していただいた立木委員の意見をもとに各委員が評価をすることを確認。→立木委員より説明 <p>（ 資格要件については、「暴力団又は暴力団経営支配法人等ではないこと」に関して、神奈川県警に照会した結果、該当しないとの回答を受けた旨及び市税納付状況等の確認を行った結果、資格要件を満たしている旨を後日委員長へ報告。）</p> <p>3 応募法人によるプレゼンテーション及び質疑応答</p> <p>(1) 横浜市豊田地域ケアプラザ ア プレゼンテーション</p>

団体から、団体の概要、事業計画等について説明

イ 主な質疑応答

(委員) 実績報告書、事故が多いが今後の姿勢を聞きたい。

(団体) 改善していかなくてはいけない。原因を見ていくと、マニュアルから外れたことをした時に起こっている。マニュアルどおりに基本的に忠実にということをもとに業務をおこなっていく。

(委員) まだ地域ケアプラザが知られていないと感じるので、広報をさらにすすめてもらいたい

(団体) 広報紙を手にとっていただけるように、ケアプラザのことだけでなく、地区全体の福祉について知っていただけるよう作成している。

(2) 横浜市笠間地域ケアプラザ

ア プレゼンテーション

団体から、団体の概要、事業計画等について説明

イ 主な質疑応答

(委員) 地域福祉保健計画での地域とのかかわりについてはどうか？

(団体) かさまつながらのプランの事務局を担っている。

4つの各分科会に参加し、支援をしている。

4期計画策定に向け、今までの5職種に加え、所長も加わり支援を進める。

(委員) 今後の職員の確保についてどう考えるか？

(団体) 今勤めている職員をどうやったら退職させないか。職場環境の整備、職員一人一人が働きやすく使命を持って働けるよう、法人内での適切な異動も有効。同職種内での研修の充実など。

(3) 横浜市小菅ケ谷地域ケアプラザ

ア プレゼンテーション

団体から、団体の概要、事業計画等について説明

イ 主な質疑応答

(委員) 事業実績のところ、一生懸命やっていると思うが、様々な課題取り組みますという表現になっており、具体的な内容が読み取れないが？

(団体) 団体の概要となっていたので、そのような表現になっている。

お客様を大切にということで、取り組んでいる。それには人材育成が大切ということで、力をいれており、特にケアプラザは、地域に根差し、何でも相談いただけるようにと考えている。

(委員) 市内で多く受託されている法人としてケアプラザ運営について、様々な取組や意見交換されていると思うが、その中で小菅ケ谷地域ケアプラザの運営に関しての強みは？

(団体) 法人内で各職種や所長の会議で他のところの取組を学びあうような会議ができ、地域に生かしている。小菅ヶ谷としては、人材を大切にしていきたい。職員一人一人が責任をもって働くことで、地域の方とも一緒に何か一つ一つのことを推進できるのではないかと思っている。

(4) 横浜市中野地域ケアプラザ

ア プレゼンテーション

団体から、団体の概要、事業計画等について説明

イ 主な質疑応答

(委員) 育成・研修のところ、外部研修参加と内部への伝達とあるが、具体には？

(団体) 専門職が配置されているが、資質の向上のための研修。
法定研修はもちろん、地域づくりの研修、居宅介護支援のケアマネジャーも研鑽積んでいる。

(委員) 目指すべき地域像の共有と実現に向けた取組について、現在でも地域について行事や居場所づくりなど支援をされているが、今後どのようなところに力を入れていきたいか？

(団体) 高齢者が多くなってきており、介護保険サービスですべてを解決するのは無理な時代。地域で課題を解決していくことが必要になってくる。まず、自身が楽しみ、仲間を作っていければ。

(5) 横浜市桂台地域ケアプラザ

ア プレゼンテーション

団体から、団体の概要、事業計画等について説明

イ 主な質疑応答

(委員) 高齢者が増えているなか健康寿命の延伸に向け運動しているが、今後どのような支援を考えているか？

(団体) はなかご（サービスB）が自治会館の近隣にある。健康づくりを広めるには、地域の方と一緒に取組む必要があり、自治会と連動しながらやっていきたい。体力測定会は、自治会館を利用させてもらい、自治会と協力して定期的にやるようなことを考えている。

(委員) 長く運営に携わってきて障害者支援とケアプラザ、今後の展開は？

(団体) 少子高齢化、精神、生活困窮など地域課題として関わっていきたい。
障害者理解は、深まっており、絶やさず伝え続けていくことが必要。

(意見交換)

- ・地域と密着できるような仕組みづくりをもっともっと考えてもらいたい。
- ・より具体的に書いてある方がいい点をつけてしまいがちである。
- ・他でもやっている法人は、資料も分かり易い。他の法人がどのようにやっているかなどを参考にしたり、意見交換も必要では。
- ・所長は、どの位のサイクルで変わっているのか？地元の意見として長くやってもらいたいと伝えるのはいい。相談、提案など一緒にやっていけるようなベースが必要。適切な人員配置、育成をしてもらいたい。
- ・どの法人も単体でなく規模の大きな団体。どこも財務基盤はしっかりしている。人件費の負担が上がってきているがかけて当然な部分。問題はない。

4 選定作業

(1) 横浜市豊田地域ケアプラザ

	応募団体	評価得点/満点
指定候補者	社会福祉法人横浜市社会福祉協議会	1,949/2,440点
次点候補者	該当なし	

(審査講評) 地域ケアプラザのみならず様々な施設運営についての実績とノウハウの蓄積が認められます。また、担当地域の個別課題をしっかりと受け止め、地域と解決していくという取組姿勢が評価できます。ただし、事故報告が多い点については、改善すべきと考えます。

(2) 横浜市笠間地域ケアプラザ

	応募団体	評価得点/満点
指定候補者	社会福祉法人同塵会	1,829/2,440点
次点候補者	該当なし	

(審査講評) 地域との関係性を重視し、顔の見える関係づくりを意欲的に進めてきたことが伺えます。また、法人内での適切な異動や同職種内の研修実施など、人材確保の視点から評価できます。今後も人材の有効活用や、医療との連携に期待します。

(3) 横浜市小菅ケ谷地域ケアプラザ

	応募団体	評価得点/満点
指定候補者	社会福祉法人横浜市福祉サービス協会	2,005/2,520点
次点候補者	該当なし	

(審査講評) 横浜市内で20館の地域ケアプラザを運営しており、運営についての実績とノウハウの蓄積が認められます。人材育成に対する意識の高さが伺え、評価できます。今後情報を発信するということに関して、大きな法人のメリットを生かしてもらいたいと考えます。

(4) 横浜市中野地域ケアプラザ

	応募団体	評価得点／満点
指定候補者	社会福祉法人ル・プリ	1,853／2,440 点
次点候補者	該当なし	

(審査講評) 地域のニーズを十分理解し、併設施設と協働した事業や様々な分野の事業を展開しており、地域住民が主体となって活動に取り組めるよう支援していく意欲が評価できます。今後、今まで事業に参加したことのない方たちの支援を広げてもらいたいと考えます。

(5) 横浜市桂台地域ケアプラザ

	応募団体	評価得点／満点
指定候補者	社会福祉法人訪問の家	1,921／2,440 点
次点候補者	該当なし	

(審査講評) 高齢者・こども・障害者など地域におけるさまざまな課題に対して幅広く支援している点が評価できます。長く運営に携わってきている障害者支援について、障害者理解も深まっており、今後も継続して支援をしてもらいたいと考えます。

指定候補者の得点は、いずれも最低制限基準の 60%以上であるため、選定委員会として社会福祉法人横浜市社会福祉協議会他を指定候補者として選定することを決定する。

資 料

- (1) 次第
- (2) 横浜市の保有する情報の公開に関する条例
- (3) 進行予定表
- (4) 評価項目及び評価基準、審査基準について
- (5) 財務状況調査結果